第53回日本生化学会中国・四国支部例会プログラム

シンポジウム 5月18日(金) A会場 (多目的ホール)

15:50-17:50

新時代を切り開く岡山発の研究:膜タンパク質とストレス応答

座長:森山芳則(岡山大)

15:50-16:30

岡山大学資源植物科学研究所 馬 建鋒 先生 「植物のミネラルトランスポーター」

16:30-17:10

岡山大学大学院自然科学研究科 沈 建仁 先生 「光合成酸素発生を可能にする光化学系 II の原子構造」

17:10-17:50

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 上原 孝 先生 「NO による蛋白質修飾と神経細胞死制御」

プログラム (一般演題)

5月18日(金) A会場 (多目的ホール)

9:30	開会挨拶
	西屋禎(岡山大)、 埴岡伸光(岡山大) A1 ミニブタ UGT1A1 の cDNA クローニング及び酵素機能 ○三宅祐加 ¹ 、真弓慶 ¹ 、神野透人 ² 、香川(田中)聡子 ² 、埴岡伸光 ¹ 、
9:50	成松鎭雄 ¹ (1 岡山大院・医歯薬, 2 国立衛研)・・・・・・・・・・ 17 A2 ヒトiPS 細胞由来肝細胞様細胞における UDP-グルクロン酸転移酵素の発現解 析
10.00	○畠山和久¹、花房弘之¹、松永民秀²、黒瀬光一³、斎藤嘉朗³、埴岡伸光¹、 成松鎭雄¹(1岡山大学院医歯薬,2名市大院薬,3国立衛研) ····· 18
10:00	
	に用いた解析 ○古川由貴 ¹ 、岸直樹 ² 、神野透人 ³ 、香川(田中)聡子 ³ 、埴岡伸光 ¹ 、成松鎭雄 ¹
10:10	(1 岡山大院・医歯薬, 2 岡山大・薬, 3 国立衛研) · · · · · · · · · 19 A4 L-アスパラギン酸オキシターゼ:キノリン酸合成酵素複合体の解析 ○秋吉渚月¹、芦田裕之²、丸田隆典¹、石川孝博¹、澤 嘉弘¹(1 島根大・生物資源・生命工, 2 島根大・総科研支援センター・遺伝子機能解析) · · 20
10:20	A5 ラン藻色素脱色型ペルオキシダーゼ Asp204 残基の解析 ○樋上裕也¹、Henry J. 0. Ogola¹、芦田裕之²、丸田隆典¹、石川孝博¹、 澤嘉弘¹(1 島根大・生物資源・生命工, 2 島根大・総科研支援センター・遺伝子機能解析) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
休憩	
座長:	植木龍也(広島大)、末吉紀行(香川大)
	A6 大腸菌Two-Hybrid法を用いたCasein Kinase 1(CK1)結合タンパク質の 探索と解析
10:50	 ○吉松惟来、亀下勇、末吉紀行(香川大・農・応用生物科学) · · · · · 22 A7 担子菌キノコ Coprinopsis cinerea に存在する 2 種類の Calmodulin の解析 ○小林博子、金子啓祐、末吉紀行、亀下勇(香川大・農・応用生物科学) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
11:00	A8 バナジウム結合タンパク質 VBP-129 の金属結合能と結合部位 ○植木龍也¹、道端齊¹(1 広島大・院理・生物科学) · · · · · · · · 24
11:10	〇個不能也 、
	○久米悟士 ¹ 、植木龍也 ¹ 、道端齊 ¹ (1 広島大学・院理・生物科学)

休憩

座長:	内海俊彦(山口大)、 河田康志(鳥取大)
11:30	A10 N-メチル-L-アミノ酸脱水素酵素の耐熱化
	○松井祐士、山川匠、村松久司、永田信治(高知大・農) ・・・・・・・ 26
11:40	A11 D-フェニルセリンデアミナーゼを用いた L-threo-フェニルセリン生産法
	○尾崎旬¹、竹山純¹、松尾英典¹、上田桃子²、山本浩明²、村松久司¹、
	永田信治 ¹ (1 高知大・農, 2 株式会社ダイセル) ····· 27
11:50	A12 cDNA リソースと無細胞タンパク質合成系を用いた新規 N-ミリストイル化タンパ
	ク質の同定
	○ 飯尾雄介、福永和貴、福重大地、高光恵美、守屋康子、内海俊彦(山口大院·
	医・応用分子生命) … 28
12:00	A13 アミロイド線維形成を抑制するキノコ由来物質の探索
	○亀田啓 ^{1,2} 、岩佐尚徳 ^{1,2} 、本郷邦広 ^{1,2} 、溝端知宏 ^{1,2} 、河田康志 ^{1,2} (1 鳥取大
	院・工・生物応用, 2 鳥取大院・医・機能再生)29
12:10	A14 グルタミンによる消化管バリア機能保護作用のメカニズム
	○赤木玲子¹、井上幸江¹、太野路子²、松原主典³、藤本充章⁴、中井彰⁴(1安
	田女大薬,2奈良女子大食栄,3広島大教育,4山口大院医) 30
昼食	
12:30	- 13:20 評議員会 (薬学部本館 1 階 第 4 講義室)
	用菜 4 1 (河河 1) 一 一 向 10 2 4 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1
	関藤孝之(愛媛大)、三留規誉(宇部工業高等専門学校)
13:40	A15 N 末端親水性領域を欠損した変異型液胞アミノ酸トランスポーターAvt4 の解析
10.50	〇石本晶也、本藤加奈、関藤孝之、柿沼喜己(愛媛大学農学部) … 31
13:50	A16 出芽酵母液胞アミノ酸トランスポーターAvt1 の基質特異性
	○刀根潤一¹、河田美幸²、関藤孝之¹、柿沼喜己¹,²(1愛媛大学農学部,2愛媛
14:00	大学総合科学研究支援センター) ····································
14.00	A17 Study on the function of SpAvt3p, a vacuolar general amino acid exporter of Schizosaccharomyces pombe
	OSoracom Chardwiriyapreecha ¹ , Kunio Manabe ¹ , Tomoko Iwaki ¹ ,
	Pongsanat Pongcharoen ¹ , Miyuki Kawano-Kawada ² , Takayuki Sekito ¹ ,
	Koichi Akiyama ² , Kaoru Takegawa ³ and Yoshimi Kakinuma ^{1,2} (1 Faculty of
	Agriculture, Ehime University, 2 Integrated Center of Sciences, Ehime University, 3
	Faculty of Agriculture, Kyushu University)
14:10	A18 ナトリウムイオン輸送型 ATP 合成酵素のイオンチャネルを形成するアミノ酸残
	基の解析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	○三留規營¹、佐藤宏記²、鈴木俊治³、吉田賢右²,³,⁴ (1 宇部工業高等専門学
	校,2 東京工業大学資源化学研究所,3 ICORP ATP システムプロジェクト、4 京
	都産業大学総合生命科学部) … 34
14:20	A19 神経細胞における小胞型ヌクレオチドトランスポーターの局在と機能
	○日浅未来¹、澤田啓介¹、宮地孝明²、表弘志¹、森山芳則¹(1岡山大学大学院
	医歯薬学総合研究科,2岡山大学自然生命科学研究支援センターゲノムプロテオ
	ーム解析部門) 35

休憩

	表弘志 (岡山大)、山田浩司 (岡山大) A20 ABCG2のミトコンドリア局在とプロトポルフィリン区蓄積の制御 ○小渕浩嗣¹、内海俊彦²、荻野哲也³、保田立二¹、内海耕慥¹(1岡山大・院・ 医歯薬学総合研究科,2山口大・院・医学系研究科,3岡山県立大・保健福祉学)
	A21 Genistein は薬物排出タンパク質 ABCG2 の機能を阻害してがん細胞の ALA 依存性 PpIX 蓄積を増大させる ○永川恵介¹、藤田洋史¹、小渕浩嗣¹、井上啓史²、佐々木順造¹、内海耕慥¹(1 岡大・院・医歯薬学総合研究科, 2 高知大・医・泌尿器科) 37
15:00	A22 Posterior column ataxia and retinitis pigmentosa (PCARP)で発見された変異型 FLVCR1 はヘム排出能力を喪失する ○ 簗取いずみ、安井ゆみこ、三浦公志郎、岸文雄(川崎医科大学 分子生物学 2遺伝学) · · · · · · · · · · · · · · · · 38
5月:	18日(金) B会場 (2階会議室)
	田邊賢司(岡大)、 辻大輔(徳島大)
9:40	B1 モノユビキチン化による膜型増殖因子 Amphiregulin の機能制御機構
	○福田尚代¹、福田信治¹、中山寛尚¹、井上博文¹,²、東山繁樹¹,²(1愛媛大学 大
	学院 医学系研究科 生化学・分子遺伝学分野,2 愛媛大学 プロテオ医学研究セ
	ンター)
9:50	B2 アネキシンファミリーによる Ectodomain shedding の制御機構 ○福田信治¹、中山寛尚¹、福田尚代¹、井上博文¹,²、東山繁樹¹,²(1 愛媛大学 大
	学院 医学系研究科 生化学・分子遺伝学分野,2 愛媛大学 プロテオ医学研究セ
	$ \begin{array}{ccccccccccccccccccccccccccccccccc$
10:00	The state of the s
	○宇山徹¹、市育代²、河野望²、井上飛鳥³、坪井一人¹、金星華¹、荒木伸一⁴、
	青木淳賢 ³ 、新井洋由 ² 、上田夏生 ¹ (1香川大・医・生化学,2東大院・薬・衛生化学,3東北大院・薬・分子細胞生化学,4香川大・医・組織細胞生物学)
	エに子, 5 末れ人的 * 来 * カ 「
10:10	B4 ダイナミン2は微小管を介してアクチンコメットを制御する
	〇逸見祐次、田邊賢司、竹居孝二(岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 生化
10:20	学) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42 B5 ホスファチジルイノシトール-4-キナーゼ II α は初期エンドソームにおける選別
10.70	輸送を制御する
	○田邊賢司、森川由章、逸見祐次、池田なるみ、大江夏子、目崎久美、
	竹居孝二 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生化学) … 43
/4-4-4	

休憩

座長:	宇山徹(香川大)、 福田信治(愛媛大)	
10:40	B6Sandhoff 病モデルマウス由来単球系細胞における Actin 重合発現解析〇小川隆 ¹、辻大輔 ¹,²、伊藤孝司 ¹,² (1 徳島大院薬・創薬生命工学分野, 2 NIBI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
10:50	B7 リソソーム病に対する ex vivo 遺伝子治療法の開発 ○難波建多郎 ^{1,2} 、辻大輔 ^{1,2} 、南條遥 ¹ 、伊藤孝司 ^{1,2} (1 徳島大学大学院ヘルス	バ
11:00	イオサイエンス研究部・創薬生命工学, 2 NIBIO)	_
11:10	○西岡宗一郎 ^{1,4} 、小林功 ^{2,4} 、辻大輔 ^{1,4} 、北尾聡 ¹ 、Motiur Md. Rahman ¹ 、池戸駿介 ¹ 、 真板宣夫 ³ 、瀬筒秀樹 ^{2,4} 、町井博明 ^{2,4} 、伊藤孝司 ^{1,4} (1徳島大学学院へルスバイオサイエンス研究部・創薬生命工学分野,2独立行政法人農業物資源研究所・遺伝子組換えカイコ研究センター,3徳島大学疾患酵素学研究ンター・酵素タンパク質結晶構造解析室,4アグリヘルス実用化研究促進プロェクト) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	生セジ 6 on conformation
休憩		
座長:	金山直樹 (岡山大)、 坂井隆志 (徳島大)	
11:30	B10 アストログリア細胞における D-セリン代謝産物ヒドロキシピルビン酸の細胞 誘導活性 ○鄭丞弼、Tran Hong Diem、頼田和子、宍戸裕二、坂井隆志、福井清 (徳島 学疾患酵素学研究センター 病態システム酵素学研究部門) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大
11:40	B11 新規 NF-kB 制御分子ヌクリングの炎症性病態への関与についての検討 ○金善美、坂井隆志、DANG VAN HUY、佐古有季哉、福井清(徳島大学疾患酵	素
11:50	学研究センター・病態システム酵素学研究部門) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タ
12:00	ー)	分
12:10	B14 小胞体ストレス応答シグナルによる軟骨細胞のアポトーシス抑制機構 ○泉聡太朗 ^{1,2} 、齋藤敦 ¹ 、今泉和則 ¹ (1 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 子細胞情報学,2 整形外科学講座)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5	
昼食		
	- 13:20 評議員会 (薬学部本館1階 第4講義室)	

座長:	今泉和則(広島大)、 大槻高史(岡山大)	
13:40	B15 アポトーシスにおける核凝縮の3つの素過程リング、ネックレス、核崩壊を記	試験
	管内で再現する	
	○ 刀祢重信 ¹ 、 網代廣三 ² 、 杉本憲治 ³ 、栗林太 ¹ (1川崎医大・生化学,	2 産
	業技術総合研究所・幹細胞工学,3大阪府立大・生命環境科学)	53
13:50	B16 エストロゲン作用物質が示す骨芽細胞の分化促進作用	
	○ 金惠珍¹、田端厚之¹、友安俊文¹、上野友美²、内山成人²、湯浅恵造¹、	
	辻明彦 ¹ 、長宗秀明 ¹ (1徳島大院・STS・ライフシステム、2大塚製薬・佐る	賀栄
	養製品研)	54
14:00	B17 熱ショック転写因子 HSF1 欠損マウスでは骨髄幹細胞の動態が障害される	こと
	で、虚血組織での血管新生が低下する	
	〇久保正幸 ^{1,2} 、李桃生 ³ 、大島真子 ¹ 、西本新 ¹ 、山本由美 ¹ 、美甘章仁 ¹ 、	
	藤本充章 4、中井彰 4、濱野公一1(1山口大・院医・器官病態外科学,2岡山	大•
	院医歯薬・公衆衛生学、3長崎大・院医歯薬・幹細胞生物学、4山口大・院	
	医化学)	55
14:10	B18 新型 O ₂ -発生デバイスを用いたヒト培養細胞への酸化ストレスの影響	
	○吉岡佑樹、濱島侑紀、階戸悠貴、竹内 一弘、田村実(愛媛大・院理工・応	(化)
		56
14:20	B19 Noxa1 は Nox2 の穏やかな活性化因子である	
	○河野真仁¹、宮本和浩¹, 階戸悠貴¹、住本英樹²、田村実¹(1 愛媛大·院理	工•
	応化, 2 九大・院医・生化学) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	57
休憩		
座長:	田村実(愛媛大)、 刀袮重信(川崎医大)	
14:40	B20 軟骨分化における PACE4 の基質の同定	
	○河野剛士、湯浅恵造、辻明彦(徳島大・STS 研究部) ············	58
14:50	B21 cGMP 依存性プロテインキナーゼ(cGK)の新規基質同定	
	○一色衣香、湯浅恵造、辻明彦(徳島大・STS 研究部) ······	59
15:00	B22 アメフラシ由来 α-アミラーゼの精製と特性解析	
	○西山奈見、造田莉沙、富永景子、湯浅恵造、辻明彦(徳島大・STS 研究部)	
		60
15:10	B23 甲状腺ホルモン受容体 $lpha$ mRNA の翻訳を抑制する 5 非翻訳領域の解析	f
	○岡田守弘、中島圭介、矢尾板芳郎 (広島大院・理・両生研)	61
15:20	B24 CLIP-RNAi 法におけるキャリア・RNA の安定性の検討	
	〇松本祥、石躍由佳、大槻高史(岡山大学工学部自然科学研究科)·	62